

## 正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2014年9月9日）

### ■第1版 第2刷（2014年5月15日発行）の修正箇所

※第1刷からの修正箇所は[https://www.yodosha.co.jp/correction/9784758117500\\_corrections.pdf](https://www.yodosha.co.jp/correction/9784758117500_corrections.pdf)をご参考ください

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
<b>1章</b>					
81	文献99	↑マグネシウムは <b>前子瘤</b> を半分以上減少させる	↑マグネシウムは <b>子瘤前症</b> を半分以上減少させる		14/09/02
94	上から17行目	CPR:心肺蘇生 CRP:C反応性蛋白 <b>または</b> <b>Clinical Prediction Rule</b>	CPR:心肺蘇生 <b>または</b> <b>Clinical Prediction Rule</b> CRP:C反応性蛋白		14/09/02
<b>2章</b>					
106	見出し3)の1行目	hyperd <b>i</b> namic	hyperd <b>y</b> namic		14/09/09
144	文献70	↑7つの文献のメタ解析。全下肢エコーをもってしても遠位(下腿)の血栓は見逃す。全下肢エコーで正常であつても3ヶ月のフォローアップで0.7%が <b>静脈</b> 血栓塞栓症になった。 <b>少ない</b> 。やっぱり全下肢エコーは優秀？	↑7つの文献のメタ解析。全下肢エコーをもってしても遠位(下腿)の血栓は見逃す。全下肢エコーで正常で <b>あれば</b> 、3ヶ月のフォローアップで <b>たったの</b> 0.7%が <b>肺</b> 血栓塞栓症になつた <b>だけ</b> 。やっぱり全下肢エコーは優秀？		14/09/09
<b>3章</b>					
161	4行目	(sagittal reformation)	(sagittal reformation)		14/09/09
200		※1 赤矢印参照	※1 赤矢印参照	<b>文章の位置のズレを修正</b>	14/09/09

### 図表

※1	修正前	修正後																								
	<p>□FACT (Focused Assessment with CT for Trauma)：最初の3分で読影、CT室のコンソールでマウスをグリグリして探すべし</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>①頸部 CT</td><td>緊急減圧開頭術の必要性</td></tr> <tr><td>②大動脈（肺動脈レベル）</td><td>大動脈損傷、縦隔血腫</td></tr> <tr><td>③肺底部 Window を変更（肺野条件）</td><td>広範肺挫傷、血気胸、心嚢血腫</td></tr> <tr><td>④骨盤腔：一気に下に！ Window を戻す</td><td>骨盤腔内で腹腔内出血をチェック</td></tr> <tr><td>⑤骨盤一脊椎：下から上に！ Window を変更（骨条件）</td><td>骨盤骨折、後腹膜出血</td></tr> <tr><td>⑥臓器損傷：上から下に！ Window を戻す</td><td>実質臓器損傷（肝臓、脾臓、腎臓、膵臓）、腸間膜血腫</td></tr> </table> <p>ルでマウスをグリグリして探すべし</p>	①頸部 CT	緊急減圧開頭術の必要性	②大動脈（肺動脈レベル）	大動脈損傷、縦隔血腫	③肺底部 Window を変更（肺野条件）	広範肺挫傷、血気胸、心嚢血腫	④骨盤腔：一気に下に！ Window を戻す	骨盤腔内で腹腔内出血をチェック	⑤骨盤一脊椎：下から上に！ Window を変更（骨条件）	骨盤骨折、後腹膜出血	⑥臓器損傷：上から下に！ Window を戻す	実質臓器損傷（肝臓、脾臓、腎臓、膵臓）、腸間膜血腫	<p>□FACT (Focused Assessment with CT for Trauma)：最初の3分で読影、CT室のコンソールでマウスをグリグリして探すべし</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>①頸部 CT</td><td>緊急減圧開頭術の必要性</td></tr> <tr><td>②大動脈（肺動脈レベル）</td><td>大動脈損傷、縦隔血腫</td></tr> <tr><td>③肺底部 Window を変更（肺野条件）</td><td>広範肺挫傷、血気胸、心嚢血腫</td></tr> <tr><td>④骨盤腔：一気に下に！ Window を戻す</td><td>骨盤腔内で腹腔内出血をチェック</td></tr> <tr><td>⑤骨盤一脊椎：下から上に！ Window を変更（骨条件）</td><td>骨盤骨折、後腹膜出血</td></tr> <tr><td>⑥臓器損傷：上から下に！ Window を戻す</td><td>実質臓器損傷（肝臓、脾臓、腎臓、膵臓）、腸間膜血腫</td></tr> </table>	①頸部 CT	緊急減圧開頭術の必要性	②大動脈（肺動脈レベル）	大動脈損傷、縦隔血腫	③肺底部 Window を変更（肺野条件）	広範肺挫傷、血気胸、心嚢血腫	④骨盤腔：一気に下に！ Window を戻す	骨盤腔内で腹腔内出血をチェック	⑤骨盤一脊椎：下から上に！ Window を変更（骨条件）	骨盤骨折、後腹膜出血	⑥臓器損傷：上から下に！ Window を戻す	実質臓器損傷（肝臓、脾臓、腎臓、膵臓）、腸間膜血腫
①頸部 CT	緊急減圧開頭術の必要性																									
②大動脈（肺動脈レベル）	大動脈損傷、縦隔血腫																									
③肺底部 Window を変更（肺野条件）	広範肺挫傷、血気胸、心嚢血腫																									
④骨盤腔：一気に下に！ Window を戻す	骨盤腔内で腹腔内出血をチェック																									
⑤骨盤一脊椎：下から上に！ Window を変更（骨条件）	骨盤骨折、後腹膜出血																									
⑥臓器損傷：上から下に！ Window を戻す	実質臓器損傷（肝臓、脾臓、腎臓、膵臓）、腸間膜血腫																									
①頸部 CT	緊急減圧開頭術の必要性																									
②大動脈（肺動脈レベル）	大動脈損傷、縦隔血腫																									
③肺底部 Window を変更（肺野条件）	広範肺挫傷、血気胸、心嚢血腫																									
④骨盤腔：一気に下に！ Window を戻す	骨盤腔内で腹腔内出血をチェック																									
⑤骨盤一脊椎：下から上に！ Window を変更（骨条件）	骨盤骨折、後腹膜出血																									
⑥臓器損傷：上から下に！ Window を戻す	実質臓器損傷（肝臓、脾臓、腎臓、膵臓）、腸間膜血腫																									